

令和元年度

(2019年度)

高崎市・安中市消防組合
歳入歳出決算審査意見書

高崎市・安中市消防組合

監 査 委 員



第219-1号
令和2年12月8日

高崎市・安中市消防組合
管理者 富岡賢治様

高崎市・安中市消防組合
監査委員 田口幸夫
同 武者葉子

令和元年度高崎市・安中市消防組合歳入歳出決算の審査意見について
地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項の規定により審査に付
された令和元年度高崎市・安中市消防組合歳入歳出決算について審査を行ったので、次
のとおり意見を提出します。

目 次

第1	審査の対象	-----	1
第2	審査の期間	-----	1
第3	審査の方法	-----	1
第4	審査の結果	-----	1
1	決算の概要	-----	2
2	歳入	-----	3
3	歳出	-----	6
4	実質収支に関する調書	-----	7
5	財産に関する調書	-----	8
6	むすび	-----	8

凡 例

- 文中及び各表中の金額は、原則として円単位で表示した。
また、千円単位で表示したものは、単位未満を四捨五入した。
- 実質収支に関する金額は、千円単位で表示する。
- 文中及び各表中で用いる比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入し第1位までを表示した。
なお、構成比率（％）は、合計が100となるよう一部調整した。
- 増減率については、次式により算出した。
$$(\text{当年度の計数} - \text{前年度の計数}) \div \text{前年度の計数の絶対値} \times 100$$
- 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「0.0」 当該数値はあるが表示単位未満のもの
「－」 当該数値のないもの
「△」 負数を示し増減を示すときは減を表すもの
- 文中で金額の後の（ ）内に表示した比率は、表記してあるものを除き、対前年度の増減率である。

令和元年度高崎市・安中市消防組合歳入歳出決算審査意見書

第1 審査の対象

令和元年度高崎市・安中市消防組合歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和2年8月28日から10月21日まで

第3 審査の方法

審査は、管理者から提出された歳入歳出決算書及び附属書類が関係法令に準拠して作成されているかを確認し、その内容を関係諸帳簿、証書類及び各所管から提出された決算審査資料等と照合審査するとともに計数の正否を確認した。

また、予算の適正かつ効率的執行についても審査したほか、例月現金出納検査表と指定金融機関の収支月計表との照合を行った。そのほか、必要に応じて関係職員に説明を求めた。

第4 審査の結果

審査の対象となった歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数も正確であり、予算の執行についてもおおむね適正妥当であると認められた。

なお、審査の概要と意見については、次に記述するとおりである。

1 決算の概要

当年度の歳入決算額は4,767,483,105円、歳出決算額は4,707,362,926円で、歳入歳出差引額は60,120,179円である。

これは、前年度に比べ、歳入で87,499,256円、歳出で97,069,661円それぞれ減少している。

当年度の歳入歳出差引額から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、歳入歳出差引額と同額で、前年度に比べ9,570,405円増加し、60,120,179円となっている。

この実質収支のうち、地方自治法第233条の2ただし書の規定に基づき40,000,000円を消防施設整備等基金に繰り入れ、翌年度繰越額は20,120,179円となっている。

また、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、前年度に比べ2,903,832円増加し、9,570,405円の黒字となっている。

当年度の決算収支状況を示すと次表のとおりである。

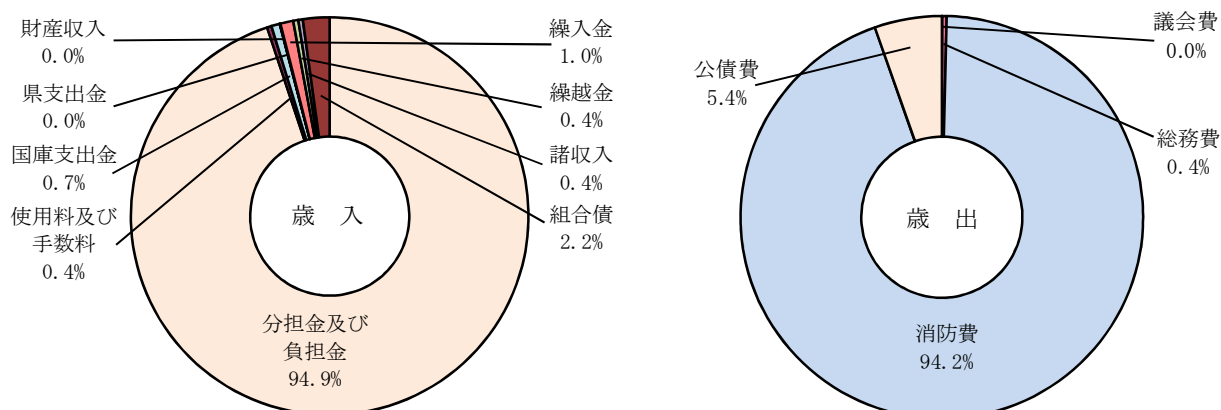
表1 決算収支状況

(単位：円、%)

区 分	元年度	30年度	比 較 増 減	
			増 減 額	増減率
歳 入 総 額	4,767,483,105	4,854,982,361	△ 87,499,256	△ 1.8
歳 出 総 額	4,707,362,926	4,804,432,587	△ 97,069,661	△ 2.0
歳入歳出差引額	60,120,179	50,549,774	9,570,405	18.9
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	—
実 質 収 支	60,120,179	50,549,774	9,570,405	18.9
基金繰入額	40,000,000	30,000,000	10,000,000	33.3
翌年度繰越額	20,120,179	20,549,774	△ 429,595	△ 2.1
前年度実質収支	50,549,774	43,883,201	6,666,573	15.2
単 年 度 収 支	9,570,405	6,666,573	2,903,832	43.6

なお、歳入及び歳出の款別決算額の構成比を示すと次のグラフのとおりである。

款別決算額の構成比



2 歳 入

(1) 概 況

収入済額は4,767,483,105円で、予算現額に対する執行率は100.1%、調定額に対する収入率は100%である。

収入済額を前年度と比較すると、87,499,256円（1.8%）の減少となっている。これは主に、分担金及び負担金で83,091,633円増加したものの、基金からの繰入金が91,000,000円、組合債が50,600,000円それぞれ減少したためである。

当年度の款別収入済額を前年度と比較してみると次表のとおりである。

表2 款別収入済額前年度比較

(単位：円、%)

区 分	元年度				30年度	比 較 増 減	
	予算現額	収入済額	収入未済額	執行率	収入済額	増 減 額	増減率
1 分担金及び負担金	4,524,050,000	4,524,050,588	0	100.0	4,440,958,955	83,091,633	1.9
2 使用料及び手数料	14,112,000	17,307,142	0	122.6	12,991,032	4,316,110	33.2
3 国庫支出金	33,254,000	33,254,000	0	100	61,685,000	△ 28,431,000	△ 46.1
4 県 支 出 金	744,000	769,000	0	103.4	764,000	5,000	0.7
5 財 産 収 入	24,000	1,182,451	0	4,926.9	470,998	711,453	151.1
6 繰 入 金	50,000,000	50,000,000	0	100	141,000,000	△ 91,000,000	△ 64.5
7 繰 越 金	20,549,000	20,549,774	0	100.0	18,883,201	1,666,573	8.8
8 諸 収 入	16,961,000	17,170,150	0	101.2	24,429,175	△ 7,259,025	△ 29.7
9 組 合 債	103,200,000	103,200,000	0	100	153,800,000	△ 50,600,000	△ 32.9
合 計	4,762,894,000	4,767,483,105	0	100.1	4,854,982,361	△ 87,499,256	△ 1.8

(2) 款別決算状況

各款別の決算状況については、以下のとおりである。

1 款 分担金及び負担金

歳入総額の94.9%を占める分担金及び負担金の収入済額は4,524,050,588円で、前年度に比べ83,091,633円の増加である。これは主に、消防費負担金が82,563,000円増加したためである。

消防共同指令センター運営事業費負担金は、高崎市等広域消防局と北西毛地域の5つの広域消防本部が共同で設置した「たかさき消防共同指令センター」の運営に係る経費の各組合の負担金である。

消防共同指令センター運営事業費負担金の収入状況は次表のとおりである。

表3 消防共同指令センター運営事業費負担金の収入状況

(単位：円、%)

区 分	元年度	30年度	比較増減	
			増減額	増減率
利根沼田広域市町村圏振興整備組合	30,520,039	30,459,084	60,955	0.2
渋川地区広域市町村圏振興整備組合	32,014,484	31,905,642	108,842	0.3
多野藤岡広域市町村圏振興整備組合	29,928,492	29,893,839	34,653	0.1
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合	29,441,801	29,151,976	289,825	1.0
吾妻広域市町村圏振興整備組合	26,791,772	26,757,414	34,358	0.1
合 計	148,696,588	148,167,955	528,633	0.4

2 款 使用料及び手数料

収入済額は17,307,142円で、前年度に比べ4,316,110円の増加である。これは主に、消防手数料が4,353,150円増加したためである。

収入の内容は、次のとおりである。

○内容と収入済額

- ・行政財産使用料563,492円
- ・危険物製造所・貯蔵所・取扱所等申請及び検査手数料16,554,050円
- ・煙火消費許可手数料189,600円

3 款 国庫支出金

収入済額は33,254,000円で、前年度に比べ28,431,000円の減少である。これは主に、支援車購入の補助金で17,907,000円皆増したものの、災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車購入の補助金で38,714,000円皆減したためである。

4 款 県支出金

収入済額は769,000円で、前年度に比べ5,000円の増加である。

5 款 財産収入

収入済額は1,182,451円で、前年度に比べ711,453円の増加である。これは主に、物品売払収入が増加したためである。

6 款 繰入金

収入済額は50,000,000円で、職員の退職手当等の財源に充てるため高崎市・安中市消防組合消防施設整備等基金の設置、管理及び処分に関する条例第6条に基づき、基金から繰

り入れを行ったものである。

7款 繰越金

収入済額は20,549,774円で、前年度に比べ1,666,573円の増加である。

8款 諸収入

収入済額は17,170,150円で、前年度に比べ7,259,025円の減少である。これは主に、建物総合損害共済災害共済金が5,885,457円減少したためである。

9款 組合債

収入済額は103,200,000円で、前年度に比べ50,600,000円の減少である。これは主に、消防ポンプ自動車等整備の組合債が53,600,000円減少したためである。

当年度は新たに103,200,000円を借り入れ、245,972,389円の元金及び8,479,311円の利子償還をした結果、当年度末残高は1,458,480,059円となり、前年度に比べ142,772,389円(8.9%)減少している。

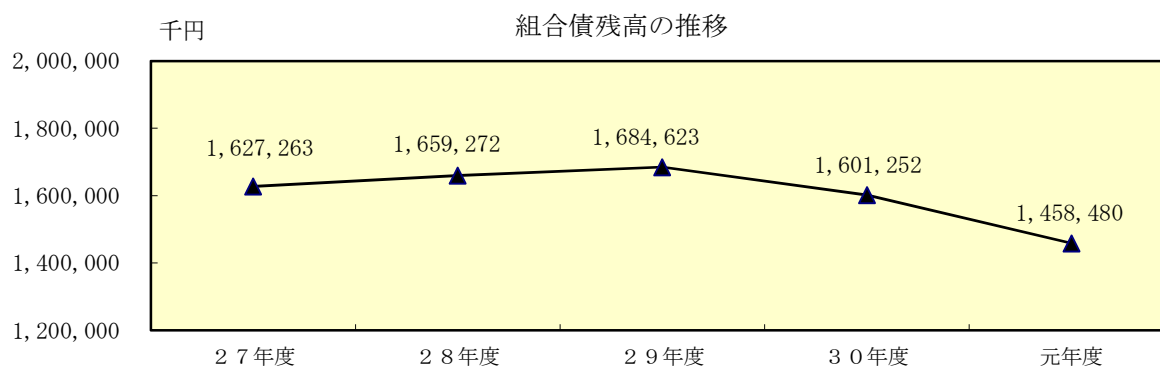
組合債現在高の状況を示すと次表のとおりである。

表4 組合債現在高の状況

(単位：円)

区 分	平成30年度末 現在高	令和元年度 発行額	令和元年度元利償還金		令和元年度末 現在高
			元 金	利 子	
消 防 施 設	1,601,252,448	103,200,000	245,972,389	8,479,311	1,458,480,059

最近5か年間の組合債残高の推移を示すと次のグラフのとおりである。



3 歳 出

(1) 概 況

支出済額は4,707,362,926円で、予算現額に対する執行率は98.8%である。

支出済額を前年度と比較すると、97,069,661円（2.0%）の減少である。これは主に、公債費が8,223,295円増加したものの、災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車購入費の皆減により消防費が105,519,813円減少したためである。

不用額は55,531,074円で、この主なものは、消防費の職員人件費である。

当年度の款別支出済額を前年度と比較してみると次表のとおりである。

表5 款別支出済額前年度比較

(単位：円、%)

区 分	元年度					30年度	比 較 増 減	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	支出済額	増 減 額	増減率
1 議 会 費	1,366,000	1,149,019	0	216,981	84.1	923,173	225,846	24.5
2 総 務 費	16,415,000	16,288,424	0	126,576	99.2	16,287,413	1,011	0.0
3 消 防 費	4,469,660,000	4,435,473,783	0	34,186,217	99.2	4,540,993,596	△ 105,519,813	△ 2.3
4 公 債 費	255,453,000	254,451,700	0	1,001,300	99.6	246,228,405	8,223,295	3.3
5 予 備 費	20,000,000	0	0	20,000,000	0	0	0	—
合 計	4,762,894,000	4,707,362,926	0	55,531,074	98.8	4,804,432,587	△ 97,069,661	△ 2.0

(2) 款別決算状況

各款別の決算状況については、以下のとおりである。

1 款 議会費

支出済額は1,149,019円で、前年度に比べ225,846円の増加である。

2 款 総務費

支出済額は16,288,424円で、前年度に比べ1,011円の増加である。

3 款 消防費

支出済額は4,435,473,783円で、前年度に比べ105,519,813円の減少である。これは主に、災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車購入費の皆減により、消防施設費が106,429,090円減少したためである。

支出の主な内容は、次のとおりである。

○主な事業と支出済額

(常備消防費)

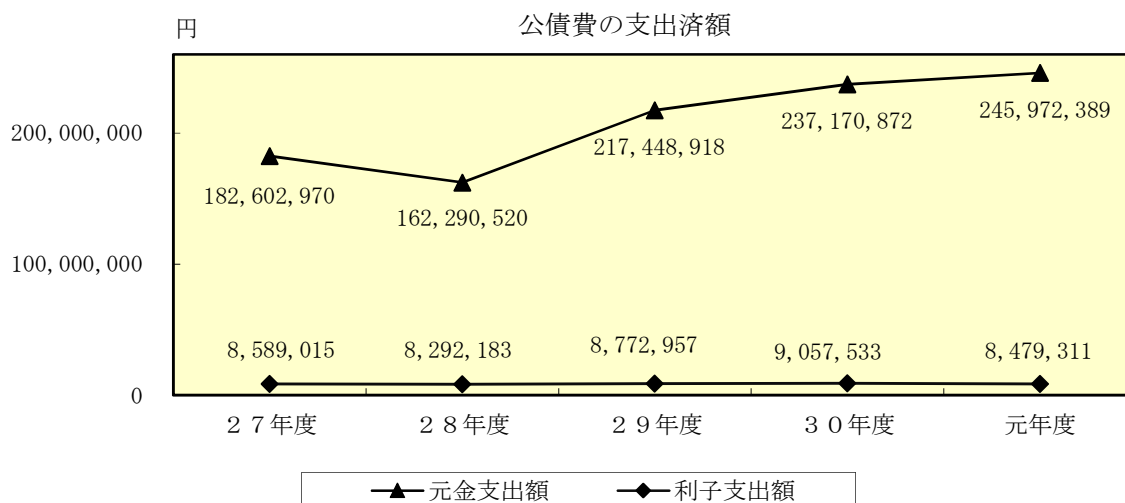
- ・職員給与等人件費3,559,491,126円
- ・職員退職手当133,919,072円

- ・燃料費等の需用費85,218,769円
(消防共同指令センター運営事業)
- ・電話料等の役務費40,423,908円
- ・消防指令システム等保守点検委託料175,599,000円
(消防施設費)
- ・車両修繕料費等の需用費47,877,963円
- ・高規格救急自動車購入費34,784,970円
- ・水槽付消防ポンプ自動車購入費49,995,000円
- ・支援車購入費75,790,000円

4 款 公債費

支出済額は254,451,700円で、前年度に比べ8,223,295円の増加である。

最近5か年間の支出済額の推移を示すと次のグラフのとおりである。



5 款 予備費

当初予算額は20,000,000円で、予備費充用がなされなかったため、予算現額及び不用額は20,000,000円である。

4 実質収支に関する調書

当年度の実質収支額は60,120千円で、前年度に比べ9,571千円（18.9%）の増加である。
 実質収支のうち、地方自治法第233条の2ただし書の規定に基づき、40,000千円が消防施設整備等基金に繰り入れられていた。

5 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土地

当組合の所有はない。高崎市・安中市からの借用である。

イ 建物

当年度末現在高は10,499.74㎡で、前年度末と比べ増減はなかった。

(2) 物 品

当年度末現在高は209点で、前年度と比べ1点減少している。これは消防車両用AED1点が増加し、貨客両用自動車及び救急自動車が各1台減少したためである。

(3) 基 金

当年度は、高崎市・安中市消防組合消防施設整備等基金の設置、管理及び処分に関する条例に基づき30,022,231円が積み立てられたが、50,000,000円取り崩されたため、当年度末現在高は102,227,326円となっている。

6 むすび

以上が、令和元年度高崎市・安中市消防組合歳入歳出決算書及び附属書類等を審査した結果の概要である。

群馬県北西部を管轄する6消防本部で共同運用している「たかさき消防共同指令センター」は、119番通報受付及び指令管制業務を一元化することで、複雑化、大規模化する災害対応や救急サービスの高度化を図ることを目的としている。当年度は、近年増加する在留外国人からの119番通報に対応するため「多言語コールセンター」を介した「三者間同時通訳による多言語対応」や、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障がい者が円滑に消防機関への通報が行えるようにするため「NET119緊急通報システム」の運用及び利用促進を図った。事業主体である当組合は各組合からの負担金を受け、消防共同指令センター運営事業として228,001千円を支出しているが、消防指令に関する事務を共同で管理及び執行することにより、経常経費の低廉化を図っている。

施設整備では、消防局庁舎における非常用自家発電設備改修工事をはじめ、各署分署の施設改善や維持管理に努めた。

予防行政としては、物品販売店舗、飲食店等の集客施設や事務所、工場等に立入検査を実施して、消防用設備等の設置、維持管理体制及び防火管理体制の徹底を図った。また、店舗などの不特定多数の者が利用する建物で、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備及び自動火災報知設備が設置されていない重大違反対象物について、ホームページで公表し、利用者に公表対象物の火災の危険性に関する情報を提供した。

令和元年度は全国で自然災害のほか、大規模火災等の人的被害及び物的被害が発生している。加えて新型コロナウイルス感染症の影響により消防を取り巻く状況は劇的に変化し

ている。それらの対応には、関係機関との情報共有と高度で専門的な対応能力の向上が求められる。

今後も、各種災害から住民の生命、身体及び財産を守るため、的確かつ迅速な総合的消防力の充実強化を図るほか、防火思想や応急手当の普及啓発に努めてもらいたい。